



PREFACE

巻頭コラム

- 342 新しい職業とIT 五十嵐美樹

お知らせ

特集記事はオンラインのみの掲載となります（本誌には「編集にあたって」「概要」のみ掲載されます）。
オンライン記事（電子図書館）の閲覧方法につきまして356ページに掲載しておりますのでご確認くださいませよう願いたします。

SPECIAL ARTICLE

特別解説

- 344 ■ 米大統領選挙とディープフェイク 湯浅壘道
348 ■ 1bit LLM の時代は来るのか、来ないのか、どちらなんだい？ 徳永拓之

SPECIAL FEATURES

小特集

生成 AI と教育

- 352 編集にあたって 金子 格・和田 勉・白井詩沙香・斎藤俊則
354 概要

教育コーナー：ぺた語義

- 357 ■ LLM で人間の学習能力は進化するのか退化するのか 喜多敏博
358 ■ 著作権教育教材のサステナブルな取り組み 天野由貴
362 ■ AI 時代の仕事と一般情報教育について考える—シンポジウム「これからの大学の情報教育」2023 開催報告— 山際 基

367 連載：先生、質問です！

連載：情報の授業をしよう！

- 368 ■ 問題解決とは何か—Web サイト制作での気づきをもとに— 平野 恵

連載：ビブリオ・トーク—私のオススメ—

- 374 AI リスク教本 攻めのディフェンスで危機回避&ビジネス加速 斎藤彰宏

連載：5分で分かる!? 有名論文ナナム読み

- 376 Kazutaka Kato et al.: MAFFT: A Novel Method for Rapid Multiple Sequence Alignment Based on Fast Fourier Transform 福永津嵩

連載：IT 紀行

- 378 ChatGPT を使って100日連続プログラミングした人に出会ってきた! 山本ゆうか

会議レポート

- 380 DS・AI を社会的側面から考える 社会のリーダーとなる人材とは 鈴木健二

《記号の説明》

■ 基礎 ■ 専門家向け
■ 応用 ■ 一般（非専門家）向け ★ Jr. ジュニア会員向け
 ※各記事に指標がついていますので参考にさせていただきます

情報処理

常時更新中!

「情報処理」オンライン

■ Vol.65 No.7

小特集：生成 AI と教育

- e1 ■ 1. 初中等教育における生成 AI の活用事例 ～自己複製で拓く新たな教育の可能性～ (安藤 昇)
- e8 ■ 2. 高等教育における生成 AI の活用 (浦田 悠・長岡徹郎・村上正行)
- e14 ■ 3. AI 時代を生きるリテラシーを育む—議論を基盤とした学習と問題解決型学習の新展開— (美馬のゆり)
- e20 ■ 4. 生成 AI によるオンライン教育の体験向上～擬似的同時体験 (SSE) による孤独感の低減～ (金子 格・栗山 健・辰己丈夫・宮島崇浩)
- e26 ■ 5. イベント紹介「生成系 AI による情報教育へのインパクト」(掛下哲郎)



連載：教科「情報」の入学試験問題って？

- e27 チェックディジットを計算しよう (久野 靖)

「情報処理」総目次 ※冊子・オンラインの記事の目次を掲載しております (目次から電子図書館の各記事へリンクしております)。

https://www.ipsj.or.jp/magazine/contents_m.html

「情報処理」note ※人気記事や最新記事のチラ見せ、無料で読める記事などさまざまなコンテンツを公開していきます。

<https://note.com/ipsj>

note 目次：https://www.ipsj.or.jp/magazine/contents_note.html



- 347 会告
- 356 【ご案内】会誌「情報処理」のオンライン記事について
- 356 会誌「情報処理」66巻表紙デザイン募集!!
- 383 会告
- 384 会員の広場
- 386 人材募集
- 387 論文誌ジャーナル掲載論文リスト/論文誌トランザクション掲載論文リスト/IPSJ カレンダー
- 388 名誉会員の紹介
- 389 2023 年度功績賞
- 391 2023 年度顕功賞
- 392 2023 年度論文賞/2023 年度業績賞
- 393 2023 年度情報処理技術研究開発賞/2023 年度マイクロソフト情報学研究賞/2024 年 IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research/2024 年 IPSJ/IEEE Computer Society Young Computer Researcher Award/2023 年度優秀教育・教材賞/2023 年度学会活動貢献賞
- 394 2023 年度ソフトウェアジャパンアワード/2023 年度フェローのご紹介
- 395 英文目次/アンケート
- 396 編集室/次号予定目次
- 397 広告掲載のご案内
- 398 賛助会員のご紹介

編集長：五十嵐悠紀

副編集長：櫻 惇志・高橋 尚子・福地健太郎

担当理事：櫻井 祐子・高岡 詠子

本号エディタ：

安部 麻里・石黒 正揮・浦西 友樹・岡本 雅子・越智 徹・勝沼 聡・金子 格・木村 朝子・久保田真一郎・櫻 リベカ・斎藤 彰宏・斎藤 俊則・酒井 政裕・島袋 舞子・白井詩沙香・末永 高志・須川 賢洋・辰己 丈夫・田中 宏・寺西 勇・中山 泰一・中澤 里奈・西原 翔太・橋本 誠志・春田秀一郎・三重野琢也・和田 勉

編集長の独言：<https://note.com/ipsj/m/me8e160fdbaa>

理事からのメッセージ：

https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/riji_message.html

■情報処理学会事務局本部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

Tel(03)3518-8374 (代表) Fax(03)3518-8375

E-mail: soumu@ipsj.or.jp <https://www.ipsj.or.jp/>

郵便振替口座 00150-4-83484

銀行振込 (いずれも普通預金口座)

みずほ銀行虎ノ門支店 1013945

三菱 UFJ 銀行本店 7636858

名義人：一般社団法人 情報処理学会

名義人カナ：シヤ) ジョウホウシヨリガツカイ

■規格部 情報規格調査会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3

Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493

E-mail: standards@itscj.ipsj.or.jp <https://itscj.ipsj.or.jp/>

■支 部 北海道/東北/東海/北陸/関西/中国/四国/九州

電子版
-DIGITAL VER-



情報学広場

情報処理

2024
7

Vol.65 No.7
通巻 712 号

小特集 **オンライン** 生成 AI と教育

特別解説 米国大統領選挙とディープフェイク
1bit LLMの時代は来るのか、来ないのか、どっちなんだい?



巻頭コラム

新しい職業とIT
五十嵐美樹

教育コーナー：ぺた語義

連載：5分で分かる!?有名論文ナカメ読み / IT紀行 / **オンライン** 教科「情報」の入試試験問題って?
情報の授業をしよう! / 先生、質問です! / ビブリオ・トーク
会議レポート

電子版もご覧ください



電子版を読む(会員無料)
情報学広場



Web公開(無料/有料)
note

情報処理学会の会員になりませんか！

<https://www.ipsj.or.jp/>



新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 出版活動（学会誌「情報処理」、論文誌、デジタルプラクティス、単行本の発行）、電子図書館への掲載
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー、短期集中セミナー他）
- 教育活動（大学の標準カリキュラム策定、JABEE 認定審査、認定情報技術者（CITP）認証、高等学校情報科教員研修）
- 国際交流（IFIP への加盟、海外学協会との提携）
- 標準化活動（情報技術に関する国際標準規格開発および普及活動）
- その他の活動（各種提言・コンピュータ博物館の運営・情報処理技術遺産の認定・表彰・支部活動他）

■会員になるには

入会申請後にマイページから入会会費をご納入ください。後日、承認通知メールをお送りいたします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

名誉会員：本会の活動において特別な功績があり、総会で推薦された個人
正会員：本会の目的に賛同して入会した個人で、本会の中心的会員
学生会員：学校に在学中の個人
ジュニア会員：小学生～大学学部3年生以下の学生（会費無料）

賛助会員

本会の活動をサポートする団体または個人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます（ジュニア会員は電子版のみ）。

特集：人の感情を理解し、人に寄り添うAI/光無線通信が作る新たな世界/植物向け計測技術/AI採点システム/自在化身体プロジェクト/AIはクリエイターになれるか/OO×情報処理/新時代の道具、ChatGPT:14の視点からその可能性を探る/Web3.0時代のサイバーセキュリティ-インターネット経済のパラダイム転換に向けた課題と展望-/デジタルツインコンピューティング/情報法の昨日、今日、明日 他

2 IT実践の現場で創出された創意工夫、新しい利用法、教訓などを紹介する「デジタルプラクティス」を読むことができます（電子版のみ）。

特集：コロナ禍後も見据えたオンラインコミュニケーション環境の活用と課題/ITと教育/本格的なDXを支えるインターネットと運用技術/XR最前線~メタバースがやってくる~/企業における情報技術活用のプラクティス 他

3 電子図書館で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格(4,000円お得)で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2023年度は「人とAIが共生する社会に向けた情報技術」をテーマに、12回オンラインにて開催しました。

5 ホットピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」や「研究会」に会員価格で参加できます。

人工知能(AI)、CG、VR、データサイエンス、クラウドコンピューティング、ソフトウェア、システム・アーキテクチャ、情報家電システム、LSI設計、高性能計算技術、プログラミング、アルゴリズム、ゲーム、セキュリティ、量子ソフトウェア、IoT、情報デザイン、情報倫理、バイオ、高齢社会デザイン、ビッグデータ、ヘルスケア、スマートコミュニティ、音楽情報、ラーニング、障害者支援...

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、情報技術遺産とパイオニアたち、クラウドシステム移行・導入 など

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。



2023年

ホット
トピックス

お問合せは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

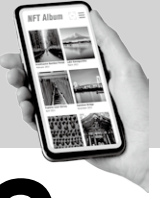
日本発！VRCGソフトとクラウドで デジタルツイン、メタバース

Digital Twin+
Sensing & AI

Web 4.0

サステナブル社会、国土強靱化に貢献
FORUM8 NFTサービス、Web4を提供中!

Metaverse



メタバース F8VPS F8NFTS

フォーラムエイトバーチャルプラットフォーム

フォーラムエイトNFTサービス

デジタル住民

アート・写真

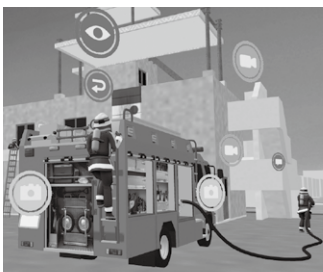
チケット

NFTギャラリー

観光

3DVR空間とアバターを介したコミュニケーションツールを用いて
バーチャルオフィス・ショールーム、イベント・工場見学、作業訓練や業務管理など
目的・用途に応じたメタバースを自由に構築!

フォーラムエイトCMキャラクター
パトリック・ハーラン氏



宇都宮デジタルシティ 体験プロジェクト 宇都宮市

宇都宮駅周辺や消防署・浄水場・焼却場など、社会科見学で訪れる主要な施設をウェブ上に構築。通常は見られない視点での探索や解説の視聴、設備のアニメーション等が含まれ、学校教育における有効性を検証。



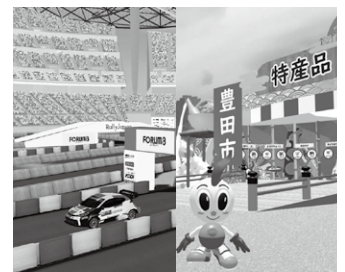
VR国総研 国土交通省 国土技術政策総合研究所

国土交通省 国土技術政策総合研究所(国総研) 旭庁舎の空間を再現しています。自由に見学・散策でき、実験施設の紹介や研究成果の動画等も閲覧可能です。



バーチャルオフィス 櫻井工業株式会社

同社では既に活用していた基幹業務システムにより、請求書や勤怠・給与管理などをすべてペーパーレス化。これに、F8VPSが有するコミュニケーションツールを始めとする各種バーチャルオフィス機能が連携。



バーチャルフォーラムエイト ラリージャパン2023

豊田スタジアムの特設コースの全容が確認でき、好きな角度や座席の位置から豊田スタジアムのコースを見ることが可能。スタジアム内部の体験や自治体プロモーションの見学やオフィシャルグッズも購入できます。

株式会社フォーラムエイト 東京本社 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟21F
Tel (代表) 03-6894-1888 (営業窓口) 0120-1888-58 E-Mail f8tokyo@forum8.co.jp

(日本国内) 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・金沢・岩手・宮崎・沖縄・虎ノ門・群馬・神戸
(海外拠点) 上海・蘇州・青島・台北・ハノイ・韓国・オーストラリア・アイルランド・ロンドン・イタリア

株式会社フォーラムエイト

FORUM8
www.forum8.co.jp

第5回 とめ研究所若手研究者懸賞論文募集



M E K E N K
K A T E K E
N S Y O U R
K E N K Y U
T E K E N K
Y O U R O N

国立情報学研究所所長／京都大学特定教授の黒橋禎夫先生をお招きして第2回人工知能最先端技術講演会、表彰式を開催します。

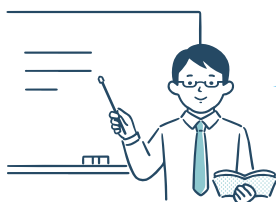
2024.6.15~2024.9.14

人工知能（知能情報処理技術）に関する論文 最優秀賞賞金 50万円 優秀賞賞金 10万円

応募資格：大学院博士前期課程又は後期課程在籍の学生、かつ35歳以下。面白い事やして社会や生活を変える
その他詳細はHPを参照。 <https://www.tome.jp/business/kenshouronbun.html> **とめ** 株式会社とめ研究所

募集

IT Text シリーズ 情報処理学会編



大学・工業高校・専門学校などで
教科書・参考書としてお使いいただけるシリーズです。

新刊

※価格は変更する場合があります。

情報セキュリティ (改訂2版)

宮地充子・菊池浩明 編
A5判／288頁／定価3,300円(税込)

離散数学 (改訂2版)

松原良太・大高彰昇・藤田慎也・小関健太・
中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 著
A5判／288頁／定価3,080円(税込)

データサイエンスの基礎

田栗正隆・汪金芳 著
A5判／264頁／定価2,970円(税込)

情報システムの分析と設計 深層学習

伊藤 潔・明神 知・富士 隆・川端 亮・
熊谷 敏・藤井 拓 著
A5判／272頁／定価3,300円(税込)

柳井啓司・中鹿 亘・稲葉通将 著
A5判／288頁／定価3,300円(税込)

自然言語処理の基礎

岡崎直観・荒瀬由紀・鈴木 潤・鶴岡慶雅・
宮尾祐介 著
A5判／320頁／定価3,300円(税込)

注文はオーム社Webサイトまで

▶ https://www.ohmsha.co.jp/tbc/text_series_0202.htm



情報処理学会トランザクションデジタルプラクティス
特集号論文募集
「気づきのあるネットワーク運用技術」

● ● ▶ [投稿締切] 2024年10月28日 (月) 9:00 ◀ ● ●

2023年3月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のマスクの着用が個人の判断に委ねられ、5月にはCOVID-19は感染症法上の位置付けも変更した。一昨年からは始まっていたニューノーマルの生活様式を超えて、COVID-19前の生活に戻りつつある。パンデミック時に整備されたテレワークやオンライン講義はすでに生活の一部となり、今後も活用が続いていくと予想される。

その一方で、パンデミック前から利用している情報システムとパンデミックに対応するために整備された情報システムの両者を運用していかなければならないことが想定される。ネットワークの重要性は日に日に増しており、運用管理を行う者たちの負担が少なくなることはない。幸いなことにこれらを監視し制御する技術も発展しているが、膨大な監視データを活用できず、障害発生後に初めて確認を行うということが少なくない。これらのデータを適切に処理・活用し、問題発生の前兆に気づかせることで、情報システムの可用性を向上し運用管理者の負担軽減を達成することが求められる。同時に情報システムの利用者にも障害や問題が発生したことを気づかせ、適切なアクションを取らせることも重要である。運用中のシステムに障害が発生した際に、何が起るかをあらかじめ気づかせることで被害を最小限に抑えようという技術も活用する必要がある。

本特集号では、運用者や管理者、利用者すべての人に気づきのあるネットワーク運用管理技術に関する課題や取り組みに焦点を当て、これからの情報通信基盤の構築および活用に向けた最新の研究、開発、実験、運用等に関するプラクティス論文を募集する。

また理論中心ではなく実践の中で問題解決を図っており、他の環境においても有益であると考えられる論文を積極的に評価する。以上により、情報システム等に関連するさまざまな運用技術の発展に寄与することを目指す。本特集号は以下のトピックを対象とするが、必ずしもこれらに限定するものではない。

- ・システム運用・管理・監視・制御のための技術
- ・システムの障害対応の技術
- ・システム運用管理における人材教育
- ・その他、システムの運用管理・ICTに関する話題

※ 投稿要領：Webサイトをご覧ください→ <https://www.ipsj.or.jp/dp/submit/tdp0603s.html>（応募資格は問いません）

※ 掲載特集号：2025年7月号（Vol.6 No.3（予定））

特集号編集委員会：

編集委員長：吉浦紀晃（埼玉大学）

副編集委員長：三島和宏（大阪教育大学）

コーディネーター：坂下 秀（アクタスソフトウェア）、宮下健輔（京都女子大学）、土屋英亮（電気通信大学）

編集委員：池部 実（大分大学）、石島 悌（大阪府立大学工業高等専門学校）、今泉貴史（千葉大学）、

大谷 誠（佐賀大学）、大森幹之（鳥取大学）、柏崎礼生（近畿大学）、北口善明（東京工業大学）、

坂下 秀（アクタスソフトウェア）、佐藤 聡（筑波大学）、敷田幹文（高知工科大学）、土屋英亮（電気通信大学）、

中山貴夫（京都女子大学）、中村 豊（九州工業大学）、萩原威志（新潟大学）、鳩野逸生（神戸大学）、

福田 豊（九州工業大学）、宮下健輔（京都女子大学）、山井成良（東京農工大学）

（論文募集公開時点（2024年5月））

情報処理学会トランザクションデジタルプラクティス 特集号論文募集 「社会を変える量子コンピュータ活用」

〔投稿締切〕 2024年8月5日（月） 9：00

現在、量子コンピュータ技術に関する社会的な関心はこれまでにないレベルで高まっている。これまでは従来のコンピュータでは解くことが困難な計算が可能な未来技術としてごく一部の研究者の中で学術的なトピックとして議論されてきたが、2024年現在は現実社会やビジネスに向けての議論が進んでおり、いよいよ本格的な実用化に近づいている状況になっている。

量子コンピュータはすでに商用のサービスが複数の企業から提供されており、多くのユーザーが量子コンピュータ実機を用いた研究開発を行っている。一口に量子コンピュータといっても、使用している「量子」によって、超伝導回路、イオン、光子、中性原子、シリコン回路、磁性体などのタイプがある。いずれもハードウェアの構成の違いではあるものの、数10量子ビットから1000量子ビットほどが実現されており、各方式の開発競争が進んでいる。またゲート方式とアニーリング方式という大きな2つの方式があり、前者は任意の演算処理を行うことができ、後者は最適化問題を解くことが特徴である。量子コンピュータを計算リソースとして使うユーザーから見た場合には、ハードウェアの構成による違いはほとんどなく、提供されている関数を用いてプログラミングを行えばよい。したがって、ハードウェア構成のある程度の理解を持つことは有用であるが、それ以上に、量子アルゴリズムに精通する必要がある。量子コンピュータに独特の計算手法（具体的にはゲート演算）を理解する必要がある。アプリケーション開発環境も量子コンピュータ実機を提供している会社などから同時に提供されているため、初心者でも取り扱いはスムーズであり、Pythonで書かれるものがほとんどなので、従来の資産を転用することも可能である。

多くの技術論文がarxivでまず投稿されており、現時点での1年間の量子コンピュータに関する論文数は6000を超えている。適用分野としては、主に、量子化学計算を用いた材料開発や創薬、ライフサイエンスに関するものや、金融・物流・製造における最適化問題やモンテカルロシミュレーション、機械学習の応用、素粒子科学や物性科学での科学計算や統計計算などがある。

現在の量子コンピュータのフィデリティ（忠実度）はかなり高くなってきているが、計算中に発生するエラーを訂正する機構を入れていくことが今後の課題の1つである。誤り訂正の手法はいろいろあるが、通常、訂正のために使う冗長な量子ビットを用意する必要があり、実際の量子ビットの数（物理量子ビットの数）よりも、誤りを訂正された量子ビットの数（論理量子ビットの数）はずっと少なくなる。しかし、2020年代末頃には、200論理量子ビット以上が実現されるという予測もなされている。一方で、現在のエラーが少し入った状態の量子コンピュータでも誤り低減技術を用いることで、古典的なアプローチでは計算が精度よくできない問題に対しても、有効な結果を得られるという発表もある。このように今の量子コンピュータによっても実用的な計算は可能であり、100量子ビットぐらいを使って、実ビジネスや科学分野での意味のある計算を行うことが現在のフォーカスとなっている。

また、量子現象の振舞いを現在のコンピュータ上で模倣する量子インスパイアード技術も注目を集めている。特に組合せ最適化問題に特化した量子アニーリングは、現代のコンピュータ上で実現可能な量子インスパイアード技術として早期の社会実装が期待されている。

このような技術的、社会的状況を踏まえ、本特集では、量子コンピュータの社会への実装、具体的にはそのプラクティスやユースケース、あるいはQXに向けたシナリオ考察やこれらの導入事例、導入・運用に際して直面した課題、およびその解決方法に関する論文を幅広く募集する。その中では、ゲート方式/アニーリング方式、量子技術/量子インスパイアード技術、を問わずに募集し、新規性よりも有用性を重視する。

以下は、具体的なトピックの例であるが、上記の範疇で、その他のトピックも歓迎する。

- ・組合せ最適化：物流、金融、製造など、さまざまな分野における量子コンピュータによる最適化問題に関する知見
- ・シミュレーション：新素材開発、創薬、化学反応シミュレーションなどに量子コンピュータを活用した知見
- ・機械学習：画像認識、音声認識、自然言語処理などに量子コンピュータを活用した知見
- ・量子暗号：情報セキュリティ、通信セキュリティなどに量子コンピュータを活用した知見
- ・その他：上記以外で量子コンピュータが社会に貢献できるユースケースに関する知見

なお、この特集は学会誌 情報処理2025年5月号特集と連動しています。

※ 投稿要領: Webサイトをご覧ください → <https://www.ipsj.or.jp/dp/submit/tdp0602s.html> (応募資格は問いません)

※ 掲載特集号: 2025年4月刊行号

TDP特集号編集長: 中野大樹 (IBM東京基礎研究所), 山岡雅直 ((株)日立製作所), 佐藤 聡 (筑波大学)

副編集委員長: 上條浩一 (東京国際工科大学)

コーディネーター: 上條浩一

編集委員: 飯尾 淳 (中央大学), 岩倉友哉 (富士通 (株)), 小野田弘士 (早稲田大学), 鎌田真由美 (日本マイクロソフト (株)),

烏谷 彰 (富士通 (株)), 木村直紀 (LINEヤフー研究所), 込山悠介 (国立情報学研究所), 坂下 秀 (アクタスソフトウェア),

坂下幸徳 (LINEヤフー/ゼットラボ), 下沢 拓 ((株)日立製作所), 土屋英亮 (電気通信大学), 藤 琳 (日本大学), 戸田貴久 (電気通信大学),

長坂健治 (キンドリルジャパン), 西尾直也 ((株)日立製作所), 服部雅一 ((株)東芝), 平山 毅 (日本IBM), 福原宏宏 (マルティスーブ (株)),

藤瀬哲朗 ((株)三菱総合研究所), 藤原真二 ((株)日立製作所), 細野 繁 (東京工科大学), 細見岳生 (NEC), 水田秀行 (日本IBM),

南山泰之 (国立情報学研究所), 三宅悠介 (GMOペパボ (株)), 宮下健輔 (京都女子大学), 森村吉貴 (京都大学),

山口晃広 (東芝研究開発センター), 山口大輔 (NTTソフトウェアイノベーションセンタ), 横山和秀 (日本IBM), 吉野松樹 ((株)CIJ),

除補由紀子 (NTTソフトウェアイノベーションセンタ), 梁 宇昕 ((株)日立製作所), 渡邊輔祐太 (三菱電機 (株))

((論文募集公開時点(2024年4月))

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一―五

発行所 一般社団法人 情報処理学会
振替口座 〇〇一五〇一四一八三三八四

電話 東京(〇三)三五一八一八三七四
印刷所 東京都荒川区西日暮里六一―二八八一

三美印刷株式会社
会員外発売所 東京都千代田区神田錦町三一―

株式会社 オーム社

HITACHI Inspire the Next

? 日立ヴァンタラの特長

日本で磨き上げた高品質なモノづくりと、グローバル市場で鍛え抜かれたビジネスアプローチを融合し、世界中のイノベーションを支援するデータインフラの新たな世界標準を確立。

? 日立ヴァンタラのコアコンピタンス

金融・公共・社会インフラなど、止まることが許されない基幹データインフラを、設計開発から製造、運用管理まで一貫して提供する能力。

? 日立ヴァンタラが注力する事業領域

世界初^{*1}のストレージ仮想化技術をベースとした世界で唯一^{*2}の「企業システムとクラウドにまたがるデータインフラ」構築。

*1 2004年9月発表 *2 弊社調べ



? 日立ヴァンタラの事業規模

世界全体での売上、約5,000億円。
120以上の国と地域でビジネスを展開し
海外の売上比率は8割以上。

? 日立ヴァンタラ本社所在地



神奈川県横浜市
(日本)



カリフォルニア州
サンタクララ
(米国)

? 日立ヴァンタラ (Hitachi Vantara) 社名の由来

Vantage Point (見晴らしのいい地点)、
Virtualization (仮想化)、
Advantage (先進的) などから命名。

日立ヴァンタラって何?

Hitachi Vantara?

Hitachi Vantara CEO
シーラ ローラ (Sheila Rohra)

日立ヴァンタラ株式会社 取締役社長
兼 Hitachi Vantara 会長
島田 朗伸

生成AIの登場で爆発的にデータが増加する中、ますます重要になるデータインフラ。そのグローバルリーダー、日立ヴァンタラが日本に逆上陸します。お客様のデータを安全に保ちつつ環境への影響を低減する革新的なデータインフラで、持続可能な未来に貢献します。

日立ヴァンタラ、逆上陸!

日立ヴァンタラ株式会社 <https://www.hitachivantara.com/ja-jp/>



定価 1,760円 (本体 1,600円 + 税 10%)

本誌広告一手取扱い (株) 日刊工業コミュニケーションズ
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-11-2 川商ビル7階
E-mail: ipsj@nikkanad.co.jp Tel.03-5614-3077

雑誌 05269-07



4910052690745
01600